

親子が互いを思う気持ちを作文に 親と子の自慢作文コンクール 市内中学生3人が入賞

12月17日、NPO法人茨城教育ネットワーク（成田浩一理事長）主催の「第17回親と子の自慢作文コンクール」の表彰式が、県立図書館（水戸市）にて行われました。市内中学生の入賞者は次の通りです。
【県教育長賞】山本幸那さん（国府中3年）
【優秀賞】小松崎咲優さん（国府中1年）
竹之内優叶さん（国府中3年）
どの作品にも親子が互いの理解を深め、思いやる気持ちが込められています。



▲県教育長賞を受賞した国府中3年の山本幸那さん



▲（右上）「推す、このまち」（左下）12月26日に行われた完成お披露目会。谷島市長（中央）と3市の高校生および石岡青年会議所会員。

広めよう「わがまち」の魅力 石岡青年会議所と高校生が 地域情報誌を作成

一般社団法人石岡青年会議所は、令和5年10月より、石岡市、小美玉市、かすみがうら市の高校生とともに3市の魅力を発信する地域情報誌の作成を行ってきました。完成した地域情報誌「推す、このまち」は、石岡第一高等学校、石岡商業高等学校、石岡第二高等学校、つくば国際大学東風高等学校の生徒たちが取材・作成した記事が掲載されており、食・歴史・自然など様々な角度からとらえた石岡市の魅力が、若者らしい視点で紹介されています。

防災意識の啓発につなげる 令和6年石岡市消防出初式 が開催されました

消防出初式は消防への理解や関心を広げ、防災意識を啓発することを目的としています。1月6日に石岡運動公園で行われた式典では、長年にわたり市の消防業務に貢献された消防団員の皆さんが表彰されました。近年、災害が頻発化・激甚化する中、私たちが安心して暮らせるために、消防団の活躍が期待されます。石岡駅前御幸通りで行われた消防パレードでは消防車両・消防団員の行進のほか、石岡幼稚園園児が「よっちょれ」を披露し、元気な姿を見せていました。



▲①人員服装点検 ②式典の様子 ③④消防パレード



地域文化の振興に貢献

川井正一さんが 地域文化功労者表彰を受賞

石岡市文化財保護審議会長の川井正一さんが文化庁から「令和5年度地域文化功労者表彰」を受けました。川井さんは茨城県教育財団で鹿の子遺跡をはじめ、県内の遺跡の発掘調査に従事。平成7年から石岡市文化財保護審議会委員を務め、平成14年からは同審議会会長として埋蔵文化財の調査指導や市の文化財保護活動の中心的役割を担われています。また、令和3年からは石岡市文化財保存活用地域計画協議会会長も務め、同計画の取りまとめにご尽力いただきました。



▲「令和5年度地域文化功労者表彰」を受けた川井正一さん



▲お披露目式では、実際に児童たちが寄贈されたグローブを使ってキャッチボールを行う姿も！

野球しようぜ！

林小学校にて大谷翔平選手からのグローブお披露目式開催

MLB ロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手から、市内19校の小学校にグローブが寄贈されました。3つのグローブ（右用2つ・左用1つ）には特別なロゴとサインがプリントされています。林小にて行われたお披露目式では、校長先生より児童へグローブが贈呈され、児童代表の佐藤祐磨さん（6年）より大谷選手へ感謝の言葉が発表されました。詳しくは二次元コードを読み込み、動画をご覧ください▶



財産を守り、後世に残す

1月26日は『文化財防火デー』 吉祥院で消防訓練を実施！

昭和24年1月26日に、法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、貴重な壁画が損傷したことを契機として定められた『文化財防火デー』。全国各地では、毎年この日を中心に、文化財の防火啓発運動が行われており、文化財が多くある石岡市では、文化財所有者などの協力のもとで火災予防意識を向上するための消防訓練を行っています。今年は1月19日に吉祥院（山崎）のご協力のもと、実際の火災を想定した訓練を実施しました。



▲1月19日の消防訓練の様子。火災発生後の連絡から、文化財を運び出し、消火を行う訓練を行いました。